

学校教育目標

地域に誇りを持ち 未来を切り拓く 黒井っ子の育成 ～自立・協働・創造～

「学力」と「人間力」の土台を作り、自信を持って人生を切り拓いていく力を育成するとともに、将来、心豊かになれる感性や教養の礎を築く。



めざす子ども像

自立 夢や希望を持って主体的に取り組む子
協働 人を大切にし、集団の中で自分を活かせる子
創造 豊かな発想を持ち、新たな価値を創り出す子



めざす教師像

- ・何を努力すればよいのかの認識があり、それが共有されている
- ・進んで分担外の業務や他者に働きかける
- ・変化への感度が高く、迅速に対応する
- ・創造的なアイデアを提言する
- ・共生社会の実現を実践する

めざすコミュニティ・スクール像

主体性を持った学校運営協議会の主導により、地域・学校・家庭がそれぞれ本来の役割を発揮し、地域の教育力を活かした学校と、持続可能なコミュニティを形成する。

本校の特色ある取組

1. 国語科教育を軸とした「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業実践
2. 黒井の歴史・文化・人材を活かした「黒井ふるさと学」
3. 県立氷上高等学校との体験学習プログラム
4. 孔雀の飼育活動を通した「命」の学習



児童自らが努力し、獲得していくこと

～次世代を生きぬく学力を身に付ける～

1. 言語活用能力 [教科等横断的な視点～学校生活のあらゆる場面において～]

- 読解力（読む、聞く）、表現力（書く、話す）を鍛える
- 「関係付ける思考」下記表を活用し、深める

言語能力はコミュニケーションの力である以前にもっと大事な認識・思考・判断の力である。言語能力を確かな学力と豊かな心を育む基盤とし「思考力・判断力・表現力」を育成する。

1・2ねんせいのかんがえかた

かんがえかた	はなしかた
くらべる	○と□は、～なところが おなじです。 ○と△は、～なところが ちがいます。
なかまわけ	～でかんがえると、○○ と□□はおなじ(ちがう) なかまです。
りゆうづけ	～とかかれているから、 ～だともいます。
よいところ みつけ	○は□のほうがよいとお もいます。りゆうは～だ からです。

3・4年生の考え方

考え方	話し方
比べる	○と□は、～なところが同じで す。 ○と△は、～なところがちが います。
なかま分け	～で考えると、○○と□□は 同じ(ちがう)なかまです。
分せき	～は、A、B、Cからできていま す。
理由づけ	～と書かれているから、～ だともいます。
推ろん	～と～と～ということから、□ ではないかと考えます。
良いところ 見つけ	○は□の方が良いと思いま す。理由は～だからです。





5・6年生の考え方

考え方	話し方
比較	○と□は、～なところが共通点 です。○と△は、～なところがち がいます。
類別	～で考えると、○○と□□は同じ (ちがう)仲間です。
分析	～は、A、B、Cからできていま す。
理由づけ	～と書かれているから、～だ ともいます。
推論	～と～と～ということから、□ ではないかと考えます。
具体化	○は、例えば～です。
一般化	これらの例から、～は○と言いま す。
評価	○は□の方が良いと思いま す。理由は～だからです。

2. ICT を利活用した「プログラミング」的思考の形成を含む情報活用能力

- ICTの基本的な操作を習得する
- 「丹波市プログラミング教育基本モデル」に沿って学ぶ
- 情報モラルを身につける



2020年度 プログラミング教育学習内容(案)					
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
	生き物を動かすプログラムを作ろう  ビスケット		作曲をしよう	正多角形をかこう スクラッチ 	
			プログラミングを体験しよう アワーオブコード アルゴリズムック プログル		
	道案内をしよう  オゾボット			生活をよくするプログラムを作ろう  マイクロビット	

3. 人とつながりコミュニケーション能力を高める外国語教育

- 英語を「使う」ことを楽しむ「英語挨拶 day」
- ALTや「ひょうごがんばりタイム」講師に、英語を使ってコミュニケーションをとる



多くの日本人は、なぜここまで英語ができないのか。それは、使うことを念頭に置いてカリキュラムを組んでこなかったからではないかと考える。英語を使うことに始まり、使うことに終わる授業をめざす。

左写真は奈良公園での外国人観光客との英会話体験である。それぞれ準備していた質問をし、アドリブで会話がはずんだ。

4. 主体的に取り組む態度を身につける（キャリア教育）

- 始業までに、明日までの予定を把握し、見通しを持って生活する。
- スモールステップで達成感を積む（自己肯定感）
- 自分の役割で、周りが良くなる実感を持つ
- 自治活動＝自分（たち）がやりたいことを自分（たち）で見つけ、実行していく経験を積む



行事・活動・授業などあらゆる場面を通じて、自治的な力と関係を育てていく。自分たちの思いを自分たちの手で実現していく中で、高学年の子どもたちは自信や自己肯定感を培う。さらには、そこでの異学年との交流が、低中学年の子どもたちにロールモデルとしての高学年像を示すことになる。

～健やかな心身をつくる～

5. 体力・運動能力の向上に励む
6. 感染症対策を実行し、自らの健康を守る
7. 道徳的価値に触れ、自らの生き方を考える

～IDENTITYを確立し、感性を磨く～

8. 黒井地域の歴史・文化から学ぶ（黒井ふるさと学）
9. 人権に関する理解や感覚を高める
10. 感性を磨く（例：美しさ、快さ、ひらめき）

- 本物に触れ、本を読み、新しい価値観を持つ。

教職員が工夫・改善していくこと

～組織的な学校運営の実現～

1. 感染症拡大防止にかかる対応

- 急な臨時休校等の措置に対応できる備え（含む家庭環境の把握）
- HP の充実を含んだ、ICT を利活用した対応の促進
- 教室環境の整備

2. 「観」をそろえた指導 ” 高学年を全員で育てる ”

- ロールモデルの育成 → 子どもは「あこがれ」を見つけて自ら育つ
- 6年間を見通した系統的な指導

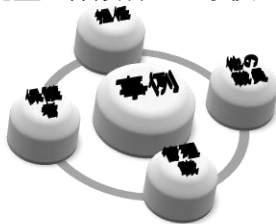
3. 特別支援教育の視点を持ち、児童理解を徹底して行う

- 多面的な児童理解 → 交換授業の実施、関係機関の協力による的確なアセスメント

4. 報告・連絡・相談の慣行（T→教頭→担当/校長）（T⇄保護者）

- 諸対応の留意点

- ① 組織対応
- ② 事実関係の正確な把握
- ③ 家庭への迅速な連絡
- ④ 児童・保護者への事後ケア



良し悪しに関わらず、教室の様子や児童の実態を話題にする習慣を持つ。

喧嘩やトラブルはゼロにすることが目標ではない。自浄能力（組織内の悪弊を自分たちで改めることのできる力）を育てていく。

見る力や聞く力、人とコミュニケーションをとる力、感情をコントロールする力、計画を立てる力、身体をうまく使う力といった本人の発達レベルに応じたちがいを受け入れる土壌を作る。

5. 働き方の質の向上

- スクールサポートスタッフの活用における学校及び教師が担う業務の明確化・適正化
- ICT 環境の整備

～個々のスキルアップ～

6. 学団や分掌による徹底した OJT の推進による効率性の UP

- 「授業を下支えする事項」の定着率を高める指導技術の向上
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（4年目）
- ICT を利活用したプログラミング的思考の形成を含む情報教育を推進する指導技術の向上 [次ページ表](#)
- 外国語の授業研究（使う英語、デジタル教科書の活用、フォニックス＝発音と綴りの関係、赤松文庫の活用）
- 新学習システム、同室複数指導による効果的な指導方法の構築
- 「教育」を地域・家庭にわかりやすく伝える

丹波市プログラミング教育基本モデル

◎プログラミング教育実施の基本的な考え方

学習の基盤となる資質・能力の一つである「情報活用能力」の育成を図る中で、プログラムの働きよさへの気付きや、論理的に考えていく力である「プログラミング的思考」、コンピュータ等をよりよく活用していくこととする態度等を、計画的・組織的に育むために、必要な指導内容を教科等横断的に配列して取り組むようにする。

◎各学年における基本指導時間 (コアカリキュラム実施時間)

各学年の指導時間は5単位時間を基本にする

◎指導の系統

	低学年	中学年	高学年	中学校
プログラムの果たす役割の理解(気づき)	←→			情報についての科学的な理解に基づいた情報活用能力の育成
プログラミング的思考の形成(思考・判断・表現)	←→			
プログラミング的思考を働かせる体験	←→			

【小学校段階】

プログラミングを体験しながら、論理的思考力を育成する

【中学校段階】

機器の制約や双方向性のあるコンテンツのプログラミングから、問題発見・解決能力を育成する

【高等学校段階】

実社会とのつながりの中から、各教科で学んだ知識をもとにプログラミングを活用した問題発見・解決能力を育成する

◎指導カリキュラム(コアカリキュラム)

	プログラムの果たす役割の理解	プログラミング的思考の形成	プログラミング的思考を働かせる体験
1年		生活等：さかせてみたいなはないっばい いろいろかたたくさん見つけた	
2年		その他：オロボットに道を教えよう！	
3年	その他：未来の道具とわたしたちのくらし		
4年	組合：コンピュータと私たちの生活		
5年			算数：円と正多角形 外国語：Where is the treasure?
6年			理科：発電と電気の利用

◎実施にあたって

- ・コアカリキュラムは最低限のものであり、別紙(プログラミング教育で育成する資質・能力一覧)を参考に、各学校の設置に応じてプログラミング教育を実施していくことが必要である。
- ・コアカリキュラム実施に伴い、学習活動の前提となるコンピュータ等の操作技能の習得時間(1～2時間程度)をICTを活用した学習とも関連させて実施していく。
- ・各学校における系統的な指導を確実に実施するために、各学校ごとの年間指導計画を作成していく。

8. 服務規律の徹底とマナーの向上

- 法令の遵守 (体罰, 個人情報, 安全運転, 他)
- 接遇能力の向上 (電話, 来客対応, 他)
- コスト意識の高揚 (時間・経費, 他)

学校運営協議会を活かした活動

～学校も地域も元気になる 黒井コミュニティ・スクール～

1. 学校の活性化

■黒井ふるさと学

生きる力を、多様な人と関わり、様々な経験・体験を重ねていく中で育む。

黒井の歴史や文化、自然、などに焦点を当てた学習を展開、黒井に誇りを持ち黒井を愛する心を育む。

■学習支援

地域住民が学習支援ボランティア、傾聴ボランティアとして教育活動を支援し、子どもに達成感を味わわせる。教師以外の大人から評価されることにより、子どもたちの自己肯定感の高まりを促進する。



2. 黒井地域の活性化

■学校運営協議会を介し、自治協議会と連携を図る。

黒井の子どもたちと学校を「縁」として、保護者や、地域住民、学校が結び合い関わり合う中で、子どもの生きる力を育成し、協働のまちづくりへとつなぐ。





校訓 親和と協力

めざす子ども像

- 自立** 夢や希望を持って主体的に取り組む子
- 協働** 人を大切にし、集団の中で自分を活かせる子
- 創造** 自己表現力・チャレンジ精神を持って挑戦する子

教育目標

地域に誇りを持ち 未来を切り拓く 黒井っ子の育成
自立・協働・創造

「学力」と「人間力」の土台を作り、自信を持って人生を切り拓いていく力を育成するとともに、将来、心豊かになれる感性や教養の礎を築く。

めざす教師像

- ・何を努力すればよいのかの認識があり、それが共有されている
- ・進んで分担外の業務や他者に働きかける
- ・変化への感性が高く、迅速に対応する
- ・創造的なアイデアを提言する
- ・共生社会の実現を実践する



子どもたちが自ら獲得して行くこと

次世代を生きぬく学力を身につける

◎言語活用能力 [本校の教科等横断的な視点]

- ・「読解力」読む、聞く「表現力」書く、話す
- ・「関係付ける思考」→主体的・対話的で深い学び
- ◎ ICT を利活用したプログラミング的思考の形成を含む情報活用能力 (含情報モラル)
- ◎ 人とつながりコミュニケーション能力を高める外国語教育
- ◎ 主体的に取り組む態度を身につける

健やかな心身をつくる

- ◎ 体力・運動能力の向上に励む
- ◎ 自らの健康を適切に管理し改善する
- ◎ 道徳的価値に触れ、自らの生き方を考える

identity を確立し、感性を磨く

- ◎ 黒井地域の歴史・文化から学ぶ
- ◎ 人権に関する理解や感覚を高める
- ◎ 感性を磨く



学校運営協議会を生かした活動

～学校も地域も元気になる 黒井コミュニティ・スクール～

- ◎ 学校の活性化
 - ・黒井ふるさと学、学習支援
 - ◎ 黒井地域の活性化
 - ・自治協議会との連携
- 地域、学校、家庭がそれぞれ本来の役割を發揮し、地域の教育力を活かした学校と持続可能なコミュニティを形成する。
- ◎ 学校評価の実施

校種間・関係機関との連携



教職員が工夫改善していくこと

組織的な学校運営の実現

- ◎ 感染症拡大防止にかかる対応
- ◎ 「親」をそろえた指導 ”高学年を全員で育てる”
 - ・ロールモデルの育成
- ◎ 特別支援教育の視点を持ち、児童理解を徹底する
 - ・多面的な児童理解
- ◎ 報告・連絡・相談の慣行
- ◎ 働き方の質の向上
 - ・スクールサポートスタッフ事業の活用
 - ・ICT 環境の整備

個々のスキルアップ

- ◎ 学団や分掌による徹底した OJT の推進による効率性の UP
 - ・「授業を下支えする事項」の定着
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・情報教育を推進する指導技術の向上
 - ・活用できる外国語授業の工夫
 - ・新学習システムなどの効果的な指導
 - ・「教育」を地域、家庭にわかりやすく伝える
- ◎ 服務規律の徹底とマナーの向上
 - ・法令の遵守、接客能力の向上、コスト意識の高揚